

MQ-28 GHOST BAT / CCA

JAPAN-AUSTRALIA DEFENCE COOPERATION

JEF 次世代航空・防衛産業協力調査団

オーストラリアにおける 次世代無人戦闘機と 日豪防衛産業協力調査団

MQ-28 Ghost Bat、有人・無人協調及びサプライチェーン連携

JAPAN-AUSTRALIA STUDY MISSION ON COLLABORATIVE COMBAT AIRCRAFT AND DEFENCE INDUSTRIAL COOPERATION

2027年 1月18日（月）～23日（土） 6日間

主な調査項目
Ⅰ AI・自律飛行と有人・無人協調
Ⅱ CCAの開発・試験・量産・運用
Ⅲ 日豪防衛産業サプライチェーン連携
Ⅳ 共同研究・技術協力と企業参入



団長 宮川 眞喜雄 氏

元駐マレーシア特命全権大使
前内閣官房国家安全保障局 国家安全保障参与

主催 一般社団法人 日本技術者連盟（JEF）

後援 一般財団法人 防衛技術協会（ご依頼中）

2026年11月吉日

関係各位

一般社団法人 日本技術者連盟
会長　村上 雅人

「オーストラリアにおける次世代無人戦闘機と日豪防衛産業協力調査団』
― MQ-28 Ghost Bat、有人・無人協調及びサプライチェーン連携 ―

拝啓　時下益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

この度、本連盟では『オーストラリアにおける次世代無人戦闘機と日豪防衛産業協力調査団』を派遣いたします。

オーストラリアは、Boeing Defence Australia、豪州空軍及びDefence Science and Technology Groupの協力により、MQ-28A Ghost Batを開発し、有人航空機と自律型無人機が連携するCollaborative Combat Aircraftの実用化を進めています。

2026年4月には、日豪両政府がMQ-28Aに関する実施取決めを締結し、両国間でCCAに　関する正式な協力活動を実施する枠組みが整備されました。

本調査団では、MQ-28Aの開発、試験、量産及び運用構想を中心に、豪州政府、　空軍、研究機関、企業及び中小サプライヤーを訪問し、次の可能性を調査します。

【調査項目】

- AI・自律飛行と有人・無人協調
- オープン・アーキテクチャと任務システム
- CCAの開発・試験・認証・運用体制
- 政府、空軍、企業、研究機関の役割分担
- 迅速な試作・改良・量産化の仕組み
- 豪州防衛産業サプライチェーンへの日本企業参入
- センサー、通信、電子部品、複合材料、精密加工等の協力
- 日豪共同研究、共同試験及び第三国展開の可能性

この訪問を通じて得られる知見は、日本の防衛技術基盤の強化、サプライチェーンの多元化、中小企業の国際展開にも資するものと期待しております。

つきましては、本趣旨にご賛同頂き、調査団へのご参加をご検討賜りますようお願い申し上げます。

敬具

〒107-0052　東京都港区赤坂2-17-12　チュリス赤坂 1302号
TEL:　03-6229-1946　FAX:03-6229-1940
E-mail: gyomu1@jef-site.or.jp
URL:　http://www.jef-site.or.jp
URL:　https://www.wkx21c.org

『オーストラリアにおける次世代無人戦闘機と日豪防衛産業協力調査団』
― MQ-28 Ghost Bat、有人・無人協調及びサプライチェーン連携 ―

― Japan–Australia Study Mission on Collaborative Combat Aircraft and Defence Industrial Cooperation
― MQ-28 Ghost Bat, Crewed–Uncrewed Teaming and Supply Chain Collaboration ―

参加要項

1. テーマ： 『オーストラリアにおける次世代無人戦闘機と日豪防衛産業協力調査団』
2. 期　間：2027 年1月18日（月）～１月23日（土）6日間
3. 主　催：一般社団法人 日本技術者連盟（JEF）
4. 後　援：一般財団法人防衛技術協会（ご依頼中）
5. 団　長： 宮川　眞喜雄



● **宮川 眞喜雄**

元駐マレーシア特命全権大使、
前内閣官房国家安全保障局国家安全保障参与。

- 1974 年東京大学工学部航空学科宇宙コース卒。
- 1989 年オックスフォード大学国際政治学博士号取得。
- 1976 年運輸省入省。
- 1979 年外務省へ移籍。総務課法令班長、内閣官房副長官秘書官、北米第二課及びロシア課首席事務官、経済局開発途上地域課長及びアジア大洋州局地域政策課長、日本国際問題研究所所長、在ジュネーブ日本政府代表部大使、気候変動交渉担当大臣官房審議官、軍縮不拡散科学部長、日米原子力協力大使、中東アフリカ局長兼アフガニスタン・パキスタン政府特別代表、駐マレーシア特命全権大使、国家安全保障局国家安全保障参与を歴任。
- 東京大学及び政策研究大学院大学で客員教授。著書：「Do Economic Sanctions Work?」（Macmillan 社）、「経済制裁」（中央公論社）、訳書：「同盟の力学」（東洋経済新報社）、その他論文多数。
- 2014 年 フランス国家功労勲章コマンドゥール受章
  （L'Ordre National du Marité au grade de Commandeur）

『オーストラリアにおける次世代無人戦闘機と日豪防衛産業協力調査団』
派遣に伴うご案内

1. 参加対象

防衛産業に携わる企業／団体／公的機関、また今後 防衛産業に参入する意思のある中堅・中小企業及びスタートアップ企業関係者の皆様。

2. 募集人員： 10 名

3. 参加費：￥1,800,000-（税別）

4. 通訳・プロジェクトマネージャー：全行程同行

5. ホテル：一人部屋

6. 総合事務局：株式会社アジア技術移転機構
東京都港区赤坂2-17-12 チュリス赤坂 1302号 TEL: 03-6229-1950

7. 運営実施/旅行取扱：観光庁長官登録旅行業者

8. 申込方法：最終ページの参加申込書に必要事項をご記入の上、以下の3点を添えて、

2026年12月11日（金）までに、

E-mail（gyomu1@jef-site.or.jp ）にてお申込み下さい。

事務局担当者より、ご連絡申し上げます。

■ 参加者のパスポートの顔写真のついたページのカラーコピー
（パスポートを取得されていない場合は、取得予定日をお知らせください）

■ 名刺のコピー（和文と英文）

■ メンバーリスト作成用 顔写真のデータ（パスポート取得時のものでも可能。

9. 代金支払：一般社団法人 日本技術者連盟の総合事務局、株式会社アジア技術移転機構より
請求書をご送付申し上げます。
期日までにお振込み下さいますよう、お願い申し上げます。

※稟議の都合上お申込みが締切日を過ぎる場合や、参加者にご変更の可能性がございます場合には、お手数ですが日本技術者連盟（電話03-6229-1946）までお問い合わせ下さい。

※ 日程その他に変更が生じた場合には、参加要項に変更がありますことを予めご了承下さい。

一般社団法人日本技術者連盟
〒107-0052 東京都港区赤坂2-17-12 チュリス赤坂 1302号
TEL: 03-6229-1946 FAX:03-6229-1940
E-mail: gyomu1@jef-site.or.jp
URL: http://www.jef-site.or.jp
URL: https://www.wkx21c.org

『オーストラリアにおける次世代無人戦闘機と日豪防衛産業協力調査団』
日程表

2027年1月18日（月）～1月23日（土） 6日間

日次	月・日・曜	都市名	交通機関	現地時間	スケジュール	食事
1	1/18 （月）	成田	QF62	20:00	羽田国際空港発	機内食
2	1/19 （火）	ブリスベン		6:05	ブリスベン国際空港着 午後：Ferra Engineering （精密加工・MQ-28関連供給網） 訪問候補 ブリスベン泊	朝 ○ 昼 ○ 夜 ○
3	1/20 （水）	ブリスベン	地上移動		午前：Boeing Defence Australia （MQ-28 Ghost Bat開発・日豪協力）訪問候補 午後：Boeing MQ-28 Production Facility （トゥーンバ／Wellcamp）訪問候補 Wagner Corporation／Wellcamp Aerospace and Defence Precinct （産業集積） 意見交換候補 ブリスベン泊	朝 ○ 昼 ○ 夜 ○
4	1/21 （木）	ブリスベン キャンベラ	QF1905	11:15 14:10	ブリスベン国際空港発 キャンベラ 着 午後：Australian Strategic Policy Institute （ASPI） 政策対話候補 キャンベラ泊	朝 ○ 昼 ○ 夜 ○
5	1/22 （金）		地上移動		午前：Australian Department of Defence （国防省／装備調達・産業協力）訪問候補 午後：Defence Science and Technology Group （DSTG／自律制御・共同研究）訪問候補 Australian Industry & Defence Network （AIDN／豪州中小企業・B2B）交流候補 キャンベラ泊	朝 ○ 昼 ○ 夜 ○
6	1/23 （土）	キャンベラ シドニー 羽田	QF1426 QF59	8:05 9:05 12:00 20:00	キャンベラ発 シドニー着 シドニー発 羽田国際空港着	朝 ○ 機内食

※上記日程の記載内容は予定であり、訪問先を含め、今後変更になる場合があります。

QF:カンタス航空

『オーストラリアにおける次世代無人戦闘機と日豪防衛産業協力調査団』
訪問先予定先概要

＊下記より5～6か所訪問予定。訪問先は都合により変更になる場合もございますので、予めご了承下さい

主要訪問候補先と調査ポイント

- 1．Boeing Defence Australia
  MQ-28A開発主体。自律飛行、有人・無人協調、オープン・アーキテクチャ、日本企業の参画可能性について意見交換。実機視察、調達・サプライチェーン担当者との面談を希望。

- 2．Boeing MQ-28 Production Facility（トゥーンバ）
  Wellcamp Aerospace and Defence Precinct内のMQ-28製造拠点。複合材加工、ロボット組立、最終組立・試験設備を視察し、製造技術と日本企業の参入機会を調査。

- 3．Royal Australian Air Force（RAAF Base Amberley）
  MQ-28Aと有人戦闘機等との協調運用、教育訓練、整備・後方支援体制を調査。訪問には防衛当局等を通じた正式調整が必要。

- 4．Australian Department of Defence（キャンベラ）
  国防省の装備調達・産業政策担当部門と意見交換。無人航空システムの導入計画、日豪防衛産業協力、中小企業の調達参入支援を調査。

- 5．Defence Science and Technology Group（DSTG）
  自律制御、AIの安全性、有人・無人協調、デジタル技術の研究開発と、日豪共同研究・実証の可能性を調査。

- 6．Australian Industry & Defence Network（AIDN）
  豪州防衛関連中小企業との交流。部品・材料・技術分野の紹介、B2B商談、日豪サプライチェーン協力を推進。

- 7．Australian Strategic Policy Institute（ASPI）
  日豪防衛協力、AUKUS Pillar II、自律型兵器・AIガバナンス、インド太平洋の安全保障について政策対話。

- 8．Ferra Engineering（ブリスベン）
  MQ-28関連精密部品サプライヤー。Boeingサプライヤー認定、品質保証、精密加工、国際サプライチェーンへの参入方法を調査。

- 9．BAE Systems Australia
  無人航空システムのミッションシステム、センサー、電子装備、システム統合技術及び日豪技術協力の可能性を調査。

- 10．Wagner Corporation／Wellcamp Aerospace and Defence Precinct
  MQ-28製造拠点の開発・運営、航空宇宙産業クラスター形成、地域サプライチェーン戦略について意見交換。

参加費に含まれるもの

Ⅰ）旅行上の諸費用
- 団体エコノミークラス航空運賃
- 燃油特別付加運賃、空港税等
- ホテル宿泊費（税・サービス料含む）
- 食事代（日程記載分。飲物は含まず）
- 現地陸上交通費（空港・ホテル・視察先への車代、ガイド代、列車代、チップ代等）
- 会議参加費及び施設等見学費
- 団長・通訳・プロジェクトマネージャー同行費用

Ⅱ）現地諸機関折衝及び手配料
- 現地 手配費用
- 現地 事前打合せ出張等諸費用

Ⅲ）企画・運営業務費など
- 企画運営費及びコーディネート費
- ツアー管理費
- 事前打合せ会/調査関連資料提供費
- 調査報告書作成費　他

参加費に含まれないもの

原則として左記以外は含まれません。その一部を例示します。
- 渡航手続き諸費用（旅券取得費用、渡航手続取扱料金等）
- 個人的経費（電話代、クリーニング代、チップ、飲み物代等）
- 集合時及び解散後の交通費
- 超過手荷物料金
- 任意の海外旅行傷害保険費用
- ご自身の障害・疾病に関する医療費

キャンセル規定（特別キャンセル規定）

- お申し込み後～旅行開始日の31日前まで：申込金50万円（税別）に加え、航空券・宿泊・現地手配等に要した取消料の実費。
- 旅行開始日の30日前～3日前まで：参加費の50%、及び企画手配料30万円。ただし、航空券や現地地上手配等の取消料の実費が参加費の50%を超える場合は、当該実費総額を優先して適用します。
- 旅行開始日の前々日以降：参加費の100%（全額）
- ※戦争、内乱、テロ、自然災害等の不可抗力により、当事務局が催行中止を判断した場合、あるいは参加者が渡航不能となった場合においても、すでに発生している航空会社・ホテル等へのキャンセル料実費、および企画手配料については、参加者のご負担となります。

その他

◆参加費は、2026年8月31日時点の運賃の１０名の参加者数に準拠したものです。**ご出発前に、参加人員や燃油特別付加運賃に大幅な変更があった場合、参加費用や参加条件が変更になる可能性もございます**ので予めご了承　下さい。

参加における注意事項

■海外旅行保険について

ご出発前に、特に以下の点をご考慮の上、海外旅行保険にご加入頂けますよう、お願い申し上げます。
所属先企業としてご加入されている場合は、事前に補償内容についてのご確認をお願い致します。
- 提携病院の有無（あればその病院名、住所、通訳サービスの有無、医療費一時支払必要性の有無など）
- 飛行機が遅延した際の費用保障
- 保険会社名、保険加入番号、緊急時連絡先
- 補償限度額（入国時に、補償額への条件を設けた海外旅行保険加入を義務付けている国がございます）

■渡航前準備について

訪問先の入国時に、査証が必要となる場合がございます。
査証取得のお手続き、費用のお支払い等については、ご参加者様ご自身にてお願い致します。

詳細につきましては、事務局にお問い合わせください。また事前打ち合わせ会でも、詳しくご説明する予定です。

一般社団法人日本技術者連盟　役員構成

会長	村上 雅人	大学共同利用機関法人情報・システム研究機構 監事、 **前芝浦工業大学学長、工学博士**
顧問	野々内 隆	元 通商産業省資源エネルギー庁　長官元一般財団法人経済産業調査会 理事長
	斎藤 信男	慶應義塾大学 名誉教授 工学博士
	松井 一秋	一般財団法人エネルギー総合工学研究所 研究顧問
理事	井戸田 勲	一般社団法人日本技術者連盟 専務理事
	梶原 豊	高千穂大学 名誉教授　経営学博士
	浮舟 邦彦	学校法人滋慶学園 総長　Ph.D.
	内藤 香	元 公益財団法人核物質管理センター理事長
	林道 寛	元 国立研究開発法人日本原子力研究開発機構 バックエンド推進部門長

主催　：　**一般社団法人日本技術者連盟 (Japan Engineers Federation：JEF)**
総合事務局　：　**株式会社アジア技術移転機構 (Asia Technology Transfer Organization, Inc .: ATTO)**
〒107-0052　東京都港区赤坂2-17-12　チュリス赤坂 1302号
TEL　：03-6229-1946（JEF）／ 03-6229-1950（ATTO）

お申込日　　年　　月　　日

『オーストラリアにおける次世代無人戦闘機と日豪防衛産業協力調査団』

参加申込書

一般社団法人日本技術者連盟　行き

フリガナ			
会社名・団体名			
所属名/役職名			
フリガナ		生年月日	西暦　　年　　月　　日
参加者氏名			
パスポート記載名（ローマ字 姓名）		英文表記名（Mr. Ms. Dr. Ph.D.なども記載）	
E-mail		携帯電話番号	
勤務先 ご住所	〒　　－		
勤務先 電話番号		FAX番号	
ご自宅 ご住所	〒　　－		
ご自宅 電話番号			
フリガナ			
担当責任者名 今回の参加について状況をご存知の方	印		
所属名/役職名			
電話番号/E-mail			

旅券（パスポート）について：今回の旅行に必要な旅券をお持ちですか。（日本帰国日より3ヵ月以上の残存期間が必要）

① はい	**旅券番号：**	**有効期限**	**西暦　　年　　月　　日**
② いいえ	取得予定日　　年　　月　　日		

強いアレルギーなどございますか	なし ・ あり （　　） ありの場合、対象物、アレルギーの程度を具体的にお知らせください	
語学力	英語について　問題あり・なし、TOEFL点数など （　　）	英語以外に、お使いになれる言語がございますか？ （　　）
通信欄 ご質問・ご希望等	マイレージをお持ちの方は番号をご記載ください（例　JAL 1234567、　ANA 2345678　他）	

個人情報保護方針

旅行申込書にご記入いただく、氏名、年齢、生年月日、電話番号、メールアドレス、住所、勤務先等の情報は「個人情報」に該当しますので、企画主催・企画実施・取扱旅行社・総合事務局は以下に掲げる個人情報の取扱いに関する基本方針及び個人情報に関して適用される法令を遵守して、お客様に関する個人情報の適正な管理・利用と保護に万全を尽くします。

１.個人情報保護利用の目的

お客様がお申し込みになられた運送、宿泊その他の旅行に関するサービス（以下「旅行サービス」といいます）を手配するために必要な範囲で情報を利用いたします。また、旅行サービス提供機関に対し、お客様の氏名、パスポート番号及び現地滞在先等をあらかじめ電子的方法等で送付することによって提供します。

２.個人情報の開示・提供

下記の場合を除き、お客様からお預かりした個人情報を第三者に開示・提供いたしません。

ア.ご本人の同意がある場合

イ.旅行サービス提供機関や販売店の手配業務委託先に、旅行サービス手配に必要な最小限度の情報を開示・提供する場合。

ウ.法的な命令等により個人情報の開示・提供が求められた場合。

３.個人情報に関するご質問、又はご意見は、総合事務局にてお受けいたします。

企画主催：一般社団法人日本技術者連盟

http://www.jef-site.or.jp　/　http://www.wkx21c.org　/　E-mail：gyomu1@jef-site.or.jp

総合事務局：株式会社アジア技術移転機構

〒107-0052　東京都港区赤坂2-17-12　チュリス赤坂 1302号

TEL ：03-6229-1950

FAX ：03-6229-1940